

福島県立葵高等学校

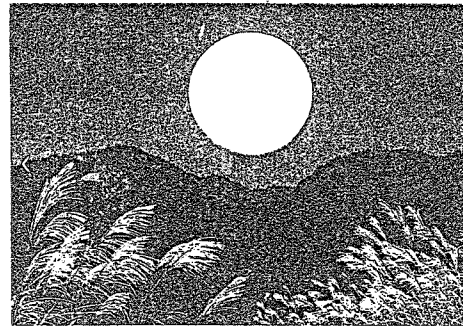
進路だより

2020年10月 ㄨ 日(金)発行

第 ㄗ 号

昨日は、中秋の名月だった。今夜も月明かりに山の稜線が浮かび上がるだろう。たまには外に出て、夜の景色を眺めてみてはどうだろう。

大学入学共通テストの志願票の出願が始まった。本校は大安である本日、10月2日に発送予定である。葵生は出願者全員が第一日程で受験する。共通テストまで106日。本番までの限られた時間を有効に活用したい。



どの学年も…今日勉強しよう！

中間考査が今日で終わった。ほっ、としている生徒諸君の顔が浮かぶ。ほっ、とすることは、それだけ頑張って勉強したということだろう(ト、シンジタイ)。久しぶりに部活やって今日は早く寝よう、などと考えている人も多いかな。

しかし、である。せっかくここ何日間かで学習量を増やし、脳みそが勉強モードになっているのに、わざわざそれをリセットするのは、もったいない。今日こそ勉強するときである。

3年10月記述模試へ向けて

3年生はこれから模試の秋である。来週は進研・駿台記述、1週おいて、全統記述、その翌週には11月マーク(実施日は10月30, 31日)。模試受験後の復習も終わらないうちに、次の模試になってしまうかもしれない。自分にとっての主要教科を優先して復習し、次の模試に臨むのも一つの方法である。

さて、10月には記述模試を2つ受けることになる。最後の記述模試である。進研・駿台記述模試は9月マークや11月マークとのドッキング判定に使われるが、それだけではない。1月16日、17日に行われる共通テストの自己採点結果とのドッキング判定にも活用される。つまり、国公立大学志望者は、2次試験でどの大学に出願するかを最終決定するときの重要なデータになるわけだ。全統記述も共通テストとのドッキング判定に活用される。3年生は本番同様の緊張感をもち、時間配分など受験日当日のことを想定して受験しよう。

受験シーズン到来 みんなで最後まで 強い気持ちで頑張り抜こう!

10月の声を聞くと、いよいよ受験が本格的に動き出す。総合型選抜(旧AO入試)が各大学で始まる。来月には学校推薦型選抜(旧推薦入試)も始まり、本校3年生の半数を超える生徒たちがそれぞれの試験に挑むことになる。

万全の準備をして受験できる者はどれだけいるだろう。中には明日が試験という者もいる。今日まで中間考査で、いったいいつ準備してきたのだろう、とこちらが不安になるような生徒もいる。自分の都合に相手が合わせてくれるはずはない。それ以前に、面接が思うようにまとまらなかったり、小論文やプレゼンテーションが仕上がっていなかったりしている人も多いだろう。合格の保証がない中で、これだけ準備して、もし不合格だったら、これまで費やした時間分の、一般選抜に向けての遅れを取り戻さなければならないことになる。

落ち着かない日々を過ごすのは、一般選抜に向けて日々学力向上を図る生徒たちも同じである。自分も推薦に挑戦しておけばよかったかな、とか、俺、一般で本当に大丈夫かな、とか、模試の判定はそう簡単に上がるはずもなく、来年合格する保証がない中で、明るい未来があるはずだと、ただひたすら信じて頑張らなければならないのだから。

どちらの生徒も、焦ったところで良いことは何一つない。自分の本番の舞台に向けて、今、自分ができることを、一つ一つ積み上げていくしか実力をつける方法はない。遠回りのように思うかもしれないが、それが一番確実である。

メジャーリーグで活躍したイチローは、こんなことを言っている。

「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行く

ただ一つの道だと思っています」

「特別なことをするために特別なことをするのはない。

特別なことをするために普段どおりの当たり前のことをする」

自信なんて、自分が苦勞しなければつかないものだ。辛い経験やもがき苦しむ体験を続けた人でなければ、自信をもつことはできない。時間もかかるし、ある程度の辛さも必要である。

これから、秋の深まりとともに日が短くなり、落ち葉に続いて雪が舞う季節になる。気持ちがふさぎ込むこともあるかもしれない。しかし、明けない夜はないのと同じように、冬の次には春が来る。学校に来れば、周りで頑張る友達がいる。明るい未来を信じて、前を向いて頑張ろう！